

誤植修正はご購入された方々に対しては、大変失礼なことであり、本当に申し分けなく、この場をお借りしまして、心よりお詫び申し上げます。

ごめんなさい。

書き手として、また、数学を教えている者として、本当に恥ずかしく反省しております。

では、

今回、数学的に修正が必要と思われる部分を表示させていただきますので、お手数をおかけし誠に恐縮ではございますが、修正の程、何卒よろしくお願い致します。

本当に申し訳ございません！

(修正部分)

(正しく修正した形)

p 17 : 上側 [枠内に関して]

上から6行目

理由⇒ $\dots\dots = b = -a$

理由⇒ $\dots\dots = k = -a$

p 48 : 赤枠の1行目の $bd$ の下

および、一番下(ヒント)の1行目末尾

お尻の項の係数 $\dots$

お尻の項の数 $\dots$

p 49 : 真ん中の赤枠内

「ある $x^n$ の式に $\dots$ 」

「ある $x$ の $n$ 次式に $\dots$ 」

(ある $x^n$ の式) =



(ある $x$ の $n$ 次式) =

p 59 : [枠内に関して]

加減法の③の部分(→1)を削除願います！

$x \rightarrow 1 = 2 \dots \textcircled{3}$

p 86 赤枠内② = 6

= 4

p 97 演習46 (1) 1行目、右の文章の末尾

「 $\dots$ 距離が3以内」

「 $\dots$ 距離が3より小さい」

p 1 1 6 例題 2 (1) 指数と根号との関係の説明ゆえ、間違いではありませんが、  
正確には二乗の部分は出すべきゆえ、修正させていただきます。

$$\dots = \sqrt[2]{a^3} = \sqrt{a^3} \quad \longrightarrow \quad \dots = \sqrt[2]{a^3} = \sqrt{a^2 \times a} = a\sqrt{a}$$

---

P 1 2 0 : [枠内に関して]

1 行目冒頭部分

指数の大小関係は・・・

累乗の大小関係は・・・

演習 6 0 (1) 2 つ目

$$\dots, 4^{\frac{1}{4}}, \dots \quad \longrightarrow \quad 4^{\frac{1}{2}}$$

---

p 1 5 1 : 演習 8 8

(3)  $f(x) =$

(3)  $y =$

---

p 1 5 8 例題<解法> (3)

・・・ → 第Ⅱ象限  $\longrightarrow$  ・・・ → 第Ⅳ象限

---

p 1 6 1 : 例題<解法> 1 行目 (\*) の部分

⇒ 第Ⅱ象限 ⇒  $90^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$

⇒ 第Ⅱ象限 ⇒  $90^\circ < \theta < 180^\circ$

---

p 1 6 8 : 下赤枠内の赤字

無数名

無名数

---

p 1 9 8 : 二重枠内

( $0 \leq \theta \leq 2\pi$ ) と  $\theta$  の設定があるゆえ、グラフはそれ以外の部分をかいてはダメ！  
それゆえ、この設定範囲を削除されるか、上記の点をご承知頂ければ幸いです。

---

p 2 1 0 演習 5 5 (2)

$$\div 2^3 = 2^{\frac{3}{2}-3-\frac{1}{3}} = 2^{-\frac{11}{6}} \quad \longrightarrow \quad \dots \div 2^{-\frac{1}{3}} = 2^{\frac{3}{2}-3-\left(-\frac{1}{3}\right)} = 2^{-\frac{7}{6}}$$

p 1 1 6 例題 2 (1) 指数と根号との関係の説明ゆえ、間違いではありませんが、  
正確には二乗の部分は出すべきゆえ、修正させていただきます。

$$\dots = \sqrt[2]{a^3} = \sqrt{a^3} \quad \longrightarrow \quad \dots = \sqrt[2]{a^3} = \sqrt{a^2 \times a} = a\sqrt{a}$$

---

p 1 2 0 : [枠内に関して]

1 行目冒頭部分

指数の大小関係は・・・

累乗の大小関係は・・・

演習 6 0 (1) 2 つ目

$$\dots, 4^{\frac{1}{4}}, \dots \quad \longrightarrow \quad 4^{\frac{1}{2}}$$

---

p 1 5 1 : 演習 8 8

(3)  $f(x) =$

(3)  $y =$

---

p 1 5 8 例題<解法> (3)

・・・ → 第Ⅱ象限  $\longrightarrow$  ・・・ → 第Ⅳ象限

---

p 1 6 1 : 例題<解法> 1 行目 (\*) の部分

⇒ 第Ⅱ象限 ⇒  $90^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$

⇒ 第Ⅱ象限 ⇒  $90^\circ < \theta < 180^\circ$

---

p 1 6 8 : 下赤枠内の赤字

無数名

無名数

---

p 1 8 7 : [証明 : 3] 2 行目の分母

$$4 \cos \alpha^3 - 3 \cos \alpha \quad \longrightarrow \quad 4 \cos^3 \alpha - 3 \cos \alpha$$

---

p 1 9 8 : 二重枠内

( $0 \leq \theta \leq 2\pi$ ) と  $\theta$  の設定があるゆえ、グラフはそれ以外の部分をかいてはダメ！  
それゆえ、この設定範囲を削除されるか、上記の点をご承知頂ければ幸いです。

---

p 2 1 0 演習 5 5 (2)

$$\div 2^{\frac{1}{3}} = 2^{\frac{3}{2}-3-\frac{1}{3}} = 2^{-\frac{11}{6}} \quad \longrightarrow \quad \dots \div 2^{-\frac{1}{3}} = 2^{\frac{3}{2}-3-\left(-\frac{1}{3}\right)} = 2^{-\frac{7}{6}}$$

p 2 7 1 : 赤枠内、図右端の部分 (等号が不要!)

$$f = (a+h) - f(a)、 f = (a+h) \longrightarrow 「 f(a+h) - f(a) 」 「 f(a+h) 」$$

---

p 2 8 1 : 赤字部分の後半部分が切れています。

下の  $\Delta y$  計算は一見・・・が、 **ただの分数計算ですからね! 汗**

---

p 2 8 8

一番右下点線枠内の一番最後

$$\Delta x = \dots - g(x) \longrightarrow -g(x) \text{の部分を} -g(y) \text{に修正願います!}$$

---

p 3 1 7 : 扉のグレー部分 (左辺の式)

$$\int_{-r}^r 2\pi x^2 dy = \longrightarrow \int_{-r}^r \pi x^2 dy =$$

---

p 3 2 6 : 赤枠内②の右辺、および、一番下の数式の右辺

$$= \frac{1}{a} \cdot \log(ax+b) + c \longrightarrow = \frac{1}{a} \cdot \log|ax+b| + c$$

---

p 3 5 1

例題1 (2) 上から5行目の式で、tでの微分計算にミスがありました。すみません。

それゆえ、その後の計算が変わってきます。本当に恥ずかしく反省しております。

正しい計算

$$dx = 2tdt \quad \leftarrow \text{ここでの微分計算が間違っていました。ごめんなさい!}$$

$$\therefore \dots = \int_0^1 (t^2 + 1) \cdot t \cdot 2tdt$$

$$= 2 \int_0^1 (t^4 + t^2) dt$$

$$= 2 \left\{ \frac{1}{5} [t^5]_0^1 + \frac{1}{3} [t^3]_0^1 \right\}$$

$$= 2 \left\{ \frac{1}{5} (1^5 - 0^5) + \frac{1}{3} (1^3 - 0^3) \right\} = 2 \left( \frac{1}{5} + \frac{1}{3} \right) = 2 \times \left( \frac{3}{15} + \frac{5}{15} \right)$$

$$= \frac{16}{15} \quad (\text{答})$$

念のため、丁寧に計算させて頂きました。汗

例題 2 <解法>

右表の下の段の t を  $\theta$  に修正願います。

---

p 4 2 4 : 真ん中の②の式、左側

(修正部分)

$$\begin{pmatrix} 1 \cdot x' + 0 \cdot y' \\ 0 \cdot x' - 1 \cdot y' \end{pmatrix}$$

y のダッシュが消えています。

(正しく修正した形)

$$\begin{pmatrix} 1 \cdot x' + 0 \cdot y' \\ 0 \cdot x' - 1 \cdot y' \end{pmatrix}$$

以上です。

本当にごめんなさい！

p 2 5 9 の補足説明 (初版お持ちの方に対して！)

ここは正確には、つぎのように書かなければいけなかったのです。

$$\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = 0 \text{ は } \sum_{n=1}^{\infty} a_n \text{ が収束するための「必要条件であり、十分条件ではない」}$$

と書くべきでした。

p 4 6 6 を参照して頂ければお分かりになると思いますが、

$$\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = 0 \quad \begin{array}{c} \xrightarrow{\text{X}} \\ \xleftarrow{\quad} \end{array} \quad \sum_{n=1}^{\infty} a_n \text{ 収束する}$$

よって、必要条件でしかありえないのです。

でも、難しいので気になさらないで大丈夫ですからね！ スミマセン。

追加分

誤

P53

例題 1

$$(\dots) \div (x^3 + 2x - 1)$$

P258

例題 3

$$(\dots) + (\dots) + \left(\frac{1}{4} - \frac{4}{9}\right) +$$

正

$$(\dots) \div (x^2 + 2x - 1)$$

$$(\dots) + (\dots) + \left(\frac{1}{4} - \frac{1}{9}\right) +$$

P386

赤枠の下 1 行目 (正の赤字の部分を加筆願います)

誤: ベクトルの内積は「 $\vec{b}$  の…」…

正: ベクトルの内積は  $|\vec{a}|$  と「 $\vec{b}$  の…」との積とも言えます。

p 116 ・ 指数の拡張

$$v : (\text{誤}) -2^0 = 1 \quad \rightarrow \quad (\text{正}) (-2)^0 = 1$$

p 433 下 : 例題 2 <解法>部分、および「補足」部分に一文を加筆願います。

<解法>最後の行に以下の赤字部分を加筆願います！

①②より、 $3^p = -3 \quad \therefore p = -1$  また、 $a = 3$ 、 $p = -1$  で両辺が等しくなる。  
よって、……(答)

(補足 : 加筆文) 文章の末に、つぎの 1 行を入れておいてください。

「ただし、最後に必ず求めた値で両辺が成り立つことの確認をしてください！」